

第六期長期計画・調整計画 むさしの未来ワークショップ 傍聴者アンケート

(令和4年7月28日開催) 自由記載欄

【傍聴者 5名】

○ 今回のむさしの未来ワークショップで印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。

※傍聴者5名記載

<p>少子化と高齢化はセットで語られることが多く、しばしば「子育て支援に力を注ぐ」のか「高齢者福祉に力を注ぐ」のか、ゼロサムの関係にあるかのように扱われてしまいますが、ぜひ未来を担う世代には斬新なアイデアで、子ども世代も主な世代も幸せになれるようなwin-winの政策提言を期待したいと思います。</p>
<p>どのグループも「外国人」について課題を挙げていた。住民投票条例の影響ではないかと思いますが、外国人の何が問題なのか？本当に問題が発生しているのか？など意見や理由が見えず、周りの大人が騒いでいるので「外国人や、外国人が政治に関わることは問題なのだ」と単純に理解している（つもりになっている）危険性を感じた。他にも、大人が「問題だ」と大きいワードで語りがちな事（少子高齢化など）はあまり面白い意見が少なく感じた。のびのびとした「大人の影響を受けない意見」を発言してもらうには日々のトレーニング（意見表明権の行使）が必要だと思いました。</p>
<ul style="list-style-type: none">・マトリックス自己紹介で、子どもの性格により、書き方が違うのが興味深い。・久しぶりに、学校の授業を受けている様で、傍聴していて楽しい。・中高生へのワークショップは3ヶ月に1度位は開催して欲しい。・子ども達からLGBTQの話が出てこないのは淋しいと思った。 武蔵野市の説明でもパートナーシップ制度の話があったのに……。 <p>(ファシリテーターの学生からの話では、前回のワークショップでも出てこなかったとの事)</p>
<p>マトリックス自己紹介、面白いです。よく質問をして相手の話を引き出すのが上手な子、よくうなずいて共感力が高そうな子、物静かにじっくり話を聞いている子。色々な個性の子がいるなあと感じました。現状の分析→将来の予測→課題のあぶり出し→政策の検討という、プログラム構成も分かりやすく良かったです。</p> <p>課題のあぶり出しの段階で、武蔵野市が単独で解決できるタイプの課題と、国政や都政とのつながりとして解決すべき課題とで、そのアプローチは異なってくると思うので、そうした視点を思いつく班があるかと思ったが、なかなかそれは難しかったかな？</p>
<p>市長への提言が、たいへん社会の課題をよく考えられたもので、すごいなあと感じました。</p>

○ その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。

※傍聴者5名記載

<ul style="list-style-type: none">・「未来の市長」が現在の市長に提言を届ける、という設定が面白いです。・未来カルテP3、25～27に書いている事は大人向けのワークショップでも建設的な話し合いをする為には大切な事だと思うので、先日の市民会議でも欲しかったと思いました。今後、六長調WSでも冒頭に伝えてはいかがでしょうか。・大人向けに」同WSがあっても面白いではないかと思いました。あまり未来に生きる人達ではありませんが、大人の方が「市全体の未来について考える」というより自分の関係するコミュニティの事ばかりになりがちなので、何か気づきを与えることができるかもしれません。(我がちになっている事に気づいてもらう)
<ul style="list-style-type: none">・傍聴者も最後に参加できる事は、先にホームページ等に記載してあれば、傍聴者が増えると思う。こんなに楽しいのにもったいない。・市長のシールは別な色にしたら、アイデアを出した子がちょっとしたステータスになると思う。・中高生の赤シールが多いものと、大人の青シールが多いものが違うのは興味深い。・子ども達の発表の仕方が個々各々で、個性的で良かった。・人権・法教育を学校で義務化する事には大賛成です。・学校の先生への通知表の事を語った子、最高だったよ。・政教分離があるから難しいかもしれないが、ノルウェー等の選挙小屋みたいなもので子ども達に政治の教育をして。・ぜひ子ども議会を作って欲しい。
<p>都合があり、最後まで傍聴できず残念ですが、参加した子どもからの報告を家で聞くのを楽しみにしたいと思います。子どもたちを一人前の市民として尊重し、その声に真摯に耳を傾ける場を設けていただいたことに感謝しています。ぜひ今後ともよろしく願いいたします。</p>
<p>そもそもの将来の人口予測について、国の予測と市独自の予測とに大きなズレがあり、ここが議論の前提なので大事なポイントなのになあ、と思いました。一応、やや悲観的な方の国の予測に基づいて、その後の分析は展開しておりましたので、その点はOKと思いました。</p> <p>温暖化対策の箇所で、電気自動車の説明がありました。ここを例として、もっと掘り下げを考えたいと思います。もちろんガソリン車がすべて電気自動車に置き換われれば、自動車から排出される二酸化酸素の量は大きく減ることとなります。しかし電気自動車に不可欠のリチウムイオン電池を製造するためには、リチウムやコバルトといった天然資源が必要です。そうした資源の採掘が急速に進んだ場合には、別の新たな環境負荷が生じるリスクがあるということも同時に説明して欲しかったです。すべてがバラ色という政策はなかなかあるものではなく、物事には功罪両面があることも理解してもらえそうな方向性が良いと思いました。</p> <p>全体として非常に楽しいワークショップで、子どもたちも活発に話し合っていて良かったです。</p> <p>こういう機会がどんどん増えていくといいなあと思います。</p>

(※文字及び文章はアンケートに記入されていた原文のまま記載しています。)